

## 第4期カレッジ防衛モニター委嘱

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充 1等海佐）は、5月26日（火）、第4期カレッジ防衛モニター6名の委嘱式を行った。

カレッジ防衛モニターは、県内在住の大学生等を対象として、自衛隊の部隊見学などを通じて、自衛隊に対する素直な感想を聴取するとともに、SNSを通じて自衛隊の活動を広く発信してもらうことを目的として導入され、今年で、4期目となる。今後は、潜水艦見学をはじめ、富士総合火力演習や観艦式などの見学が予定されている。6名のモニターは、委嘱状授与の際、緊張した表情を見せていたが、「今後の活動が楽しみです。大学生の目線で、いろいろな意見を発信していきたいです」と意気込みを語っていた。

神奈川地方協力本部は、「カレッジ防衛モニター」の印象に残る見学を計画していく」としている。



委嘱式

## 海自横須賀基地で「総合的な学習の時間」を支援

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 宮山 2陸尉）は、6月10日（水）、海上自衛隊横須賀地方総監部で行われた、県立横浜清陵総合高等学校（1学年10名）の、「総合的な学習の時間」を支援した。

同校の生徒は、海上自衛隊の全般説明を受けた後、曳船で横須賀基地周辺海上をクルージングし、護衛艦や潜水艦、そして、米海軍のイージス艦等に大興奮であった。その後は、護衛艦「あきづき」を見学し、乗員による、護衛艦の特性や、装備品の説明に真剣に耳を傾けていた。この「総合的な学習の時間」の様子は、校内の報告会で発表されるという。

横浜中央募集案内所は、「今後も、学校との関係を深め、より多くの学生が自衛隊に興味を持ってもらえる様、努めていきたい」としている。



曳船でクルージング



護衛艦の見学



体験喫食